

# みちのく

# ココロとカラダの癒し旅

岩手県盛岡市つなぎ温泉 ひいな野の丘湖山荘

全国には「〇〇の奥座敷」と称される温泉がある。岩手県盛岡市の場合、つなぎ温泉がそれにあたる。北上川の支流雫石川のダム湖である御所湖が雫石町の南部にあり、湖畔一帯は雫石エリアのレジャーゾーンの一角をなしている。その御所湖南岸にあるつなぎ温泉は、住所上は盛岡市なのだが、小岩井農場や雫石スキー場、網張スキー場も間近で、実際的には雫石エリアのレジャーや観光とセットで楽しみたい温泉なのだ。

長い歴史を持つ旧来の繫(つなぎ)温泉は、雫石川上流の旧御所村にあり、

戦前までは山間のひなびた湯治場であったという。戦後に温泉街の規模も拡大していったが、昭和五十五年の御所ダムの完成に伴い、旧繫温泉はダムの底となり、改めて御所湖畔の高台に現在のつなぎ温泉として温泉街を広げていったものだ。

つなぎという地名の由来になった、穴のうがたれた「繫石」が今でも温泉街の一隅に残っている。これは、九百年余り昔の前九年の役の折りに、この地に本陣を構えた源義家がこの石に愛馬をつなぎ止めておいたものだという。



雫石川をせき止めて造られた御所ダム。後方につなぎ温泉が見える



御所湖畔にたつ、つなぎ温泉のシンボル「シオンの像」



つなぎ温泉温泉神社



「つなぎ」という地名の由来になった繫石(つなぎいし)







館内から下駄をつつけて御所湖前にあつらえた庭に出ることができる

### 生まれ変わって二年目の宿

温泉街の中心部から少しはずれた御所湖畔の小高い丘の上に、閑静なたたずまいの温泉旅館湖山荘がある。

開業して三十年ほどになるが、これまで、特に知られた宿ではなかった。とりたてて特徴のある宿とは言い難い面があったからだ。ところが、二十九歳の現在の社長が三代目として二年前に経営を引き継いでから、この宿は冒險とも言える大胆な営業方針の転換を行ってきた。かつては宴会中心のお客も積極的にとっていたのだが、今は個人客に絞って宴会客はとっていない。カラオケを置くのもやめた。収容人員もかつての八十名から四十名まで半減させた。二人連れや家族連れ、ごく少数のグループで、のんびりと静かに、思い出に残る旅の一夜を過ごしてほしいという社長の決断によるものだ。

一番大きく変わったのが料理だ。「私が経営を引き継いでから、海のものど加工ものは一切使わないことになりました。地元の食材を使った手づくり料理で勝負します」と、社長の村上史佳さん。



本館2階の展望スペース。さながら豪華客船にでも乗っている気分



客室には剣玉やお手玉が置かれていた。童心に帰って遊ぼう!



冷たい緑茶と自家製の水ようかんが迎えてくれた



和風庭園に面した部屋にはぬれ縁があつらえてある



客室はすべて和室で落ちついたたたずまい





ご飯は白米と山菜ご飯からチョイス



比内鶏の鍋と串焼き



虹鱈の薫製と生野菜



岩魚の昆布しめと塩焼き



ビールのグラスはオリジナルの陶製



食事の際、竹製の3タイプの箸からお好みをチョイスする趣向



この日のデザートはブルーベリーのシャーベット

### 湖畔に別荘を持った気分で

もう一つこだわっているのが料理の温度。つくり置いたものを一度にテーブルに並べるのではなく、あつあつのつくりたてのものがその都度、調理場から運ばれてくる。その料理の内容も創作性にあふれている。旅の醍醐味は何といつても料理という人にも、ぜひお勧めしておきたい。メインの料理は肉料理、魚料理、鶏料理の中からお好みで選べる。食べたいものを自分でチョイスできるというのは楽しいものだ。

料理は、量的には決して多くはないのだが、試行錯誤を繰り返して、今の献立に落ち着いたという。量や見た目では豪華さを演出するのではなく、本当においしいものを食べてもらいたいという宿の思いが伝わってくる。

内湯は、特に大きなものではないが窓が広く開放感あふれるタイル張りの浴場と、湖に面した青森ヒバを多用した浴場が男女別に一つずつ、それに泳げるほど広い男女別の露天風呂。一泊すれば時間を気にせずいつでも自由に三通りの温泉浴を楽しめるわけだ。泉質は無色透明のきれいな単純硫酸黄泉。湯上がりには身体からほのかな温泉の香りがにおい立つ。

また、本館とは完全に独立して三棟建つ離れも魅力的だ。宿泊料金は一般客室よりは高いが、各棟に専用の温泉浴室もつき、食事も部屋でとれるのでプライバシー重視で本当にのんびり過ごしたい人にはおあつらえ向き。三棟の離れは、囲炉裏部屋付き、専用露天風呂付きなど、一棟ごとに趣向を凝らしている。こちらは口コミで人

本館と並んで3棟の離れがある



離れのうちの1棟は専用の露天風呂付き



朝食のご飯は雑穀飯



敷地内の庭にキノコが生えていた



離れのうちの1棟は囲炉裏を設けて古民家風の演出





青森ヒバを使った落ち着いた雰囲気の内風呂



タイル張りの内風呂は開放感にあふれている



男女別に広々とした露天風呂がある

K O Z A N S O U

本館のご案内

- 客室 13室
- ご宴会場
- 観音の湯
- しだないの湯(大露天風呂)

離れのご案内

客室

- ◆岩鷲(がんじゆ)
  - 専用青森ひば風呂(寝そべり風呂) 7名様
- ◆湖鏡(こきよう)
  - 専用青森ひば風呂・囲炉裏部屋付 4名様
- ◆駒形(こまがた)
  - 専用青森ひば風呂・露天風呂 7名様

お一人様1泊2食付  
 本館 11,500円より(税別)  
 離れ 18,000円より(税別)



〒020-0055  
 岩手県盛岡市繁字上野23-36  
**TEL.019-689-2658** Fax.019-689-2384  
 ホームページアドレス  
<http://www.nnet.ne.jp/kozansou/>  
 Eメールアドレス  
[kozansou@nnet.ne.jp](mailto:kozansou@nnet.ne.jp)

湖山荘は、旅館としての歴史は三十年あまり。しかし、同時に、まだ出来て二年の若い温泉宿とも言える。温泉旅館の理想を追求したいという経営者の挑戦はまだまだ続いている。これからどんな斬新なアイデアやサービスを提供してくれるのか楽しみだ。

雫石エリアは観光やレジャーのアイテムが豊富なのが魅力。年々新しい施設も誕生しているので、道の駅や観光案内所で最新の観光パンフレットを手に入れたい。秋田からは近場だけれども、湖山荘を旅の宿とすれば、なかなか密度の濃い旅行が出来そうだ。時間や予算に余裕はなくても、ちょっと思い出に残るような旅を試してみたいという時に、覚えておきたい宿の一軒だ。

(文写真IIかとりゆみ) 秋田市

思い出に残したい旅に

気が広がり、利用はずいぶん多いらしい。この離れに泊まれば、さながら湖のほとりに別荘を構えているような気分が味わえることだろう。



ダム水没地にあった南部曲り屋が雫石歴史民俗資料館に移築保存されている



小岩井農場

